

人工知能学会へのジャーナル論文投稿  
吉田 昌太

## 1 前回の課題

先月までは、ジャーナル論文執筆にあたって、引用論文の調査と章立ての構成を立てた。前回の課題を以下に示す。

- 「はじめに」を一通り完成させる
- 章立てにしたがって、書き進めていく
- 書き進めながら、章立てを修正していく

## 2 研究の進捗状況

### 2.1 論文の引用

「はじめに」における論文の引用に関して、以下に示す 4 つの内容のついて引用できる論文を見つけ、「はじめに」を書き直した。

- 対話型進化計算についての部分  
高木英行, 畷見達夫, 寺野隆雄: 対話型進化計算法の研究動向, 人工知能学会誌
- 対話型進化計算の応用についての部分  
青木研, 高木英行: 対話型 GA による 3 次元 CG ライティングデザイン支援, 電子情報通信学会論文誌
- 対話型遺伝的アルゴリズムについての部分  
高木英行, 青木研: インタラクティブ GA, ワークショップ「インタラクティブ進化的計算論」
- 対話型遺伝的アルゴリズムの問題点についての部分  
高木英行, 大崎美穂, 印具毅雄: インタラクティブ EC 操作者の疲労軽減手法, ワークショップ「インタラクティブ進化的計算論」

引用する論文の数としては、まだ少ないのでこれから引用できる内容をさらに検討し、その内容に適した引用論文の調査を行わなくていけない。また、感性の問題についても触れるかどうかを引き続き検討していかなくてはならない。

### 2.2 2 章以降の執筆状況

論文の章立てについては、先月までに暫定的なものを構成した。今月は、章立てを新しく訂正して以下のように構成し直し、それに基づいて書き進めた。「はじめに」の執筆に時間がかかるため、同時にそれ以降の章も書け

るところは執筆をしていった。この 2 章以降の執筆状況については、以下に示すように 4.3 以降が未完成である。

1. はじめに (執筆中)
2. 対話型遺伝的アルゴリズム (執筆完了)
  - 2.1. 対話型進化計算法 (執筆完了)
  - 2.2. 対話型遺伝的アルゴリズムの概要 (執筆完了)
  - 2.3. 対話型遺伝的アルゴリズムの問題点 (執筆完了)
3. 並列分散対話型遺伝的アルゴリズム (執筆完了)
  - 3.1. 並列分散対話型遺伝的アルゴリズムの提案 (執筆完了)
  - 3.2. 並列分散対話型遺伝的アルゴリズムの実装 (執筆完了)
4. 提案手法の評価 (執筆完了)
  - 4.1. 対象とする設計問題 (執筆完了)
  - 4.2. 並列分散対話型遺伝的アルゴリズムの詳細 (執筆完了)
    - 4.2.1. 実数値遺伝的アルゴリズム (執筆完了)
    - 4.2.2. 突然変異個体と移住個体 (執筆完了)
  - 4.3. 主観評価実験とその考察 (執筆中)
    - 4.3.1. 主観評価実験 (執筆中)
    - 4.3.2. 実験結果 (執筆中)
    - 4.3.3. 考察 (執筆中)
5. 結論 (執筆中)

## 3 今後の課題

今月は「はじめに」の引用論文の調査と同時にそれ以降の章の執筆も行ったため、全体的に大きく進んだ。今後は、2 章以降に関しては早く書き進めて先に終わらし、最後に「はじめに」を完成させる予定である。論文投稿については、少なくとも来月中にはする予定である。

今後の課題を以下に示す。

- 「はじめに」における引用部分の検討および引用論文の調査
- 感性の問題を扱うかどうかの検討
- 4.3 以降の執筆
- 論文の投稿